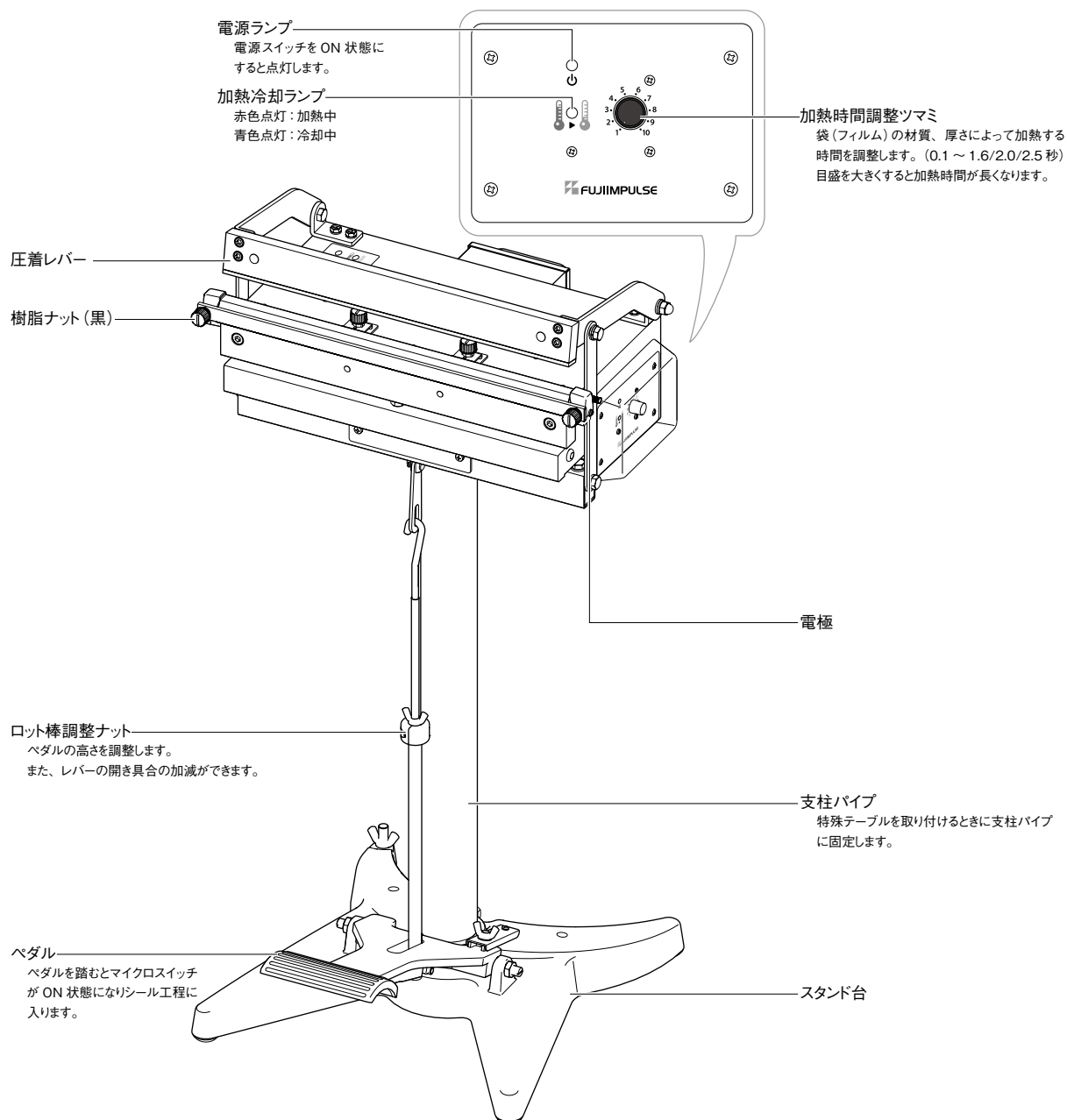


7 各部の名称とはたらき

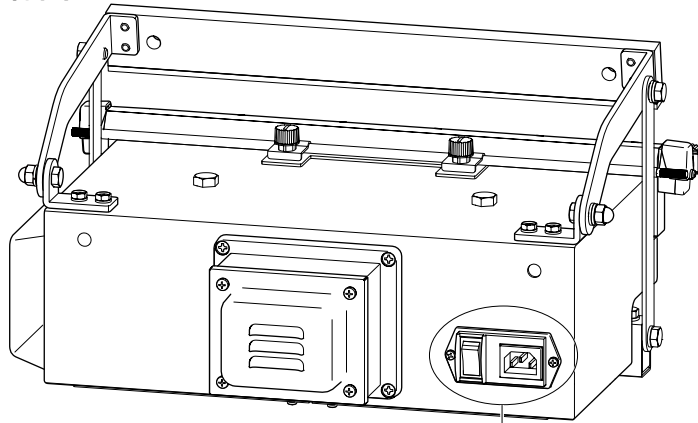
Fi-400Y

下イラストは Fi-400Y です。

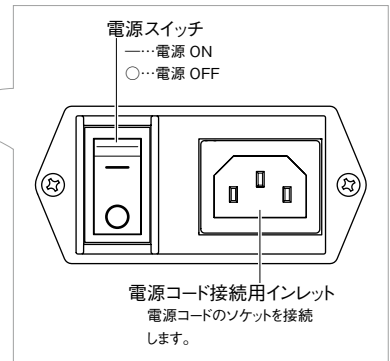
その他製品；各部の名称の詳細は、「分解図・部品表」を参照してください。



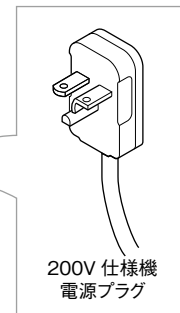
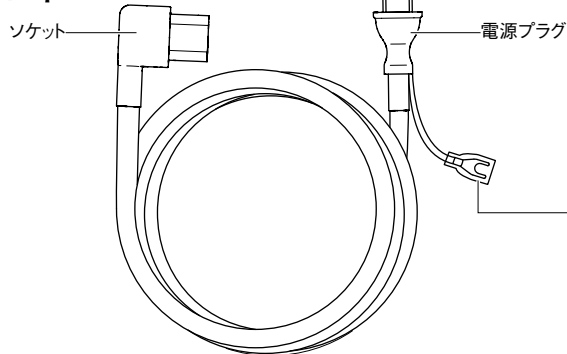
機械背面



インレットモジュール
ヒーター電流を監視し、加熱異常や過電流を検知すると電源スイッチをOFFにして、回路を遮断します。また、FUSEを内蔵しており、急激な過電流に対しても安全です。



電源コード



※ 100V仕様機の電源コードの電源プラグには、アース線がありますが、製品本体とは接続されていません。

MEMO 本製品は、法律に基づき、内部配線の絶縁に十分配慮した製品となっているため、アース接続は不要です。ただし、湿気の多い場所や水がかかる恐れのある場所では、故障により漏電し、感電の恐れがあるため、絶対に使用しないでください。

8 正しい使い方

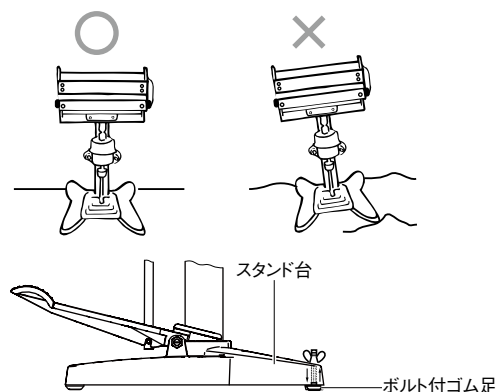
この製品を使用する時は以下の『正しい使い方』をよくお読みいただき、お使いください。
以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、たいへん危険です。

8-1 本体の設置

水平な面を持つ適切な床の上に設置してください。

警告 水平な面を持たない床に不安定な状態で設置するとシーラーが転倒する危険性があります。

スタンド台に取り付けられているボルト付ゴム足の蝶ナットを緩めるとボルト付ゴム足の高さが調整できますので、多少の床面の高さの違いには対応できます。



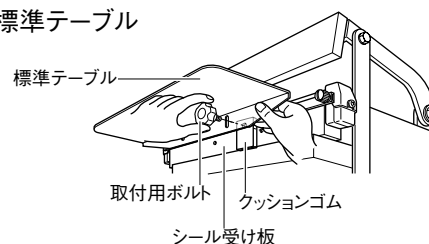
8-2 テーブル (オプション品) の取り付け

テーブルを使用されない場合はこの作業をする必要はありません。

1 標準テーブル (オプション品)

シール受け板に、取付用ボルトで固定してください。作業しやすい高さに微調整できます。

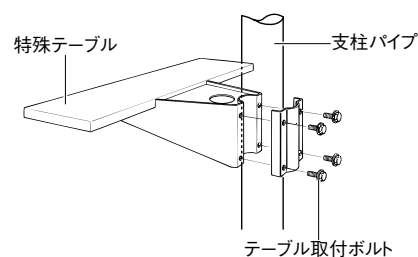
1 標準テーブル



2 特殊テーブル (オプション品)

支柱パイプにボルトで締め付けて固定します。

2 特殊テーブル

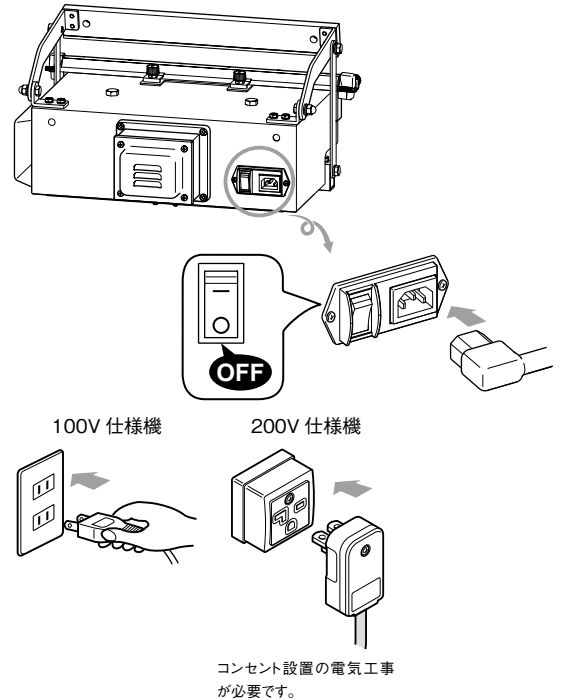


8-3 電源コードの接続

- 1 電源コードのソケットを機械背面の電源コード接続用インレットに接続してください。
- 2 電源コードの電源プラグを「1 仕様」(→ P.5) で掲載しているお買い上げ製品の電圧・電力がとれるコンセントに確実に根元まで差し込んでください。

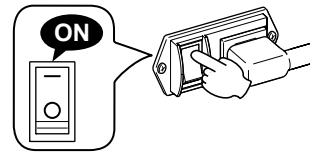
警告 電源コードは必ず付属のものを使用してください。規定の容量に合わない場合、火災などの危険があります。

注! 電源スイッチは OFF の状態で、電源コードのソケット、電源プラグを接続してください。電源スイッチが ON の状態で電源コードを接続すると、電源スイッチ内部の安全回路がまだ動作していないため、一旦 OFF になりますが、異常ではありません。



8-4 電源スイッチ ON

機械背面にある電源スイッチを押して ON 状態にするとタイマーの電源ランプが点灯します。



8-5 タイマーでシール条件を設定

タイマーで加熱時間を設定します。

タイマーカバーの手前を上を持ち上げると加熱時間調整ツマミを触れるようになります。

袋(フィルム)の材質、厚さなどにより設定値が変わりますので、異なる袋(フィルム)を使用される時は、その都度設定してください。

●加熱時間の設定

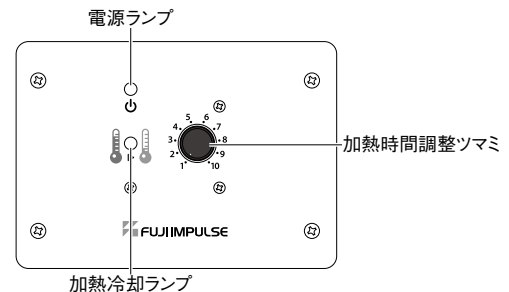
タイマー中央の加熱時間調整ツマミを回して設定します。(目盛り 1 ~ 10 の範囲)

使用される袋(フィルム)の材質により加熱時間は異なります。

シールができる最短の時間で設定してください。作業速度が上がり、部品の無駄な消耗を抑えます。

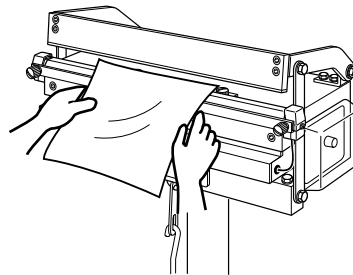
警告 加熱目盛を大きくして、冷却時間を取らないで連続使用すると、火災などが発生する危険性があります。

MEMO 異なる種類のヒーターへ交換した場合(組紐ヒーターからリボンヒーター、リボンヒーターから組紐ヒーターへ交換)同じ袋(フィルム)を使用されていても、加熱時間の調整が必要となる場合がありますので、シールテストを行い、必要に応じて加熱時間の調整を行ってください。



8-6 袋(フィルム)をシール部にセットする

袋(フィルム)を両手で持ち、シワがなくなるように両手でピンと張りながらシール部に手で持っています。



8-7 ペダルを踏む

- 1 カチッ音とマイクロスイッチの音がするまでペダルを踏み込んでください。加熱冷却ランプが赤色に点灯し、加熱が開始します。

注意 必要以上にペダルを踏み込むとマイクロスイッチ等の部品を損傷させる危険がありますので、無理な力を加えてペダルを踏み込まないように注意してください。

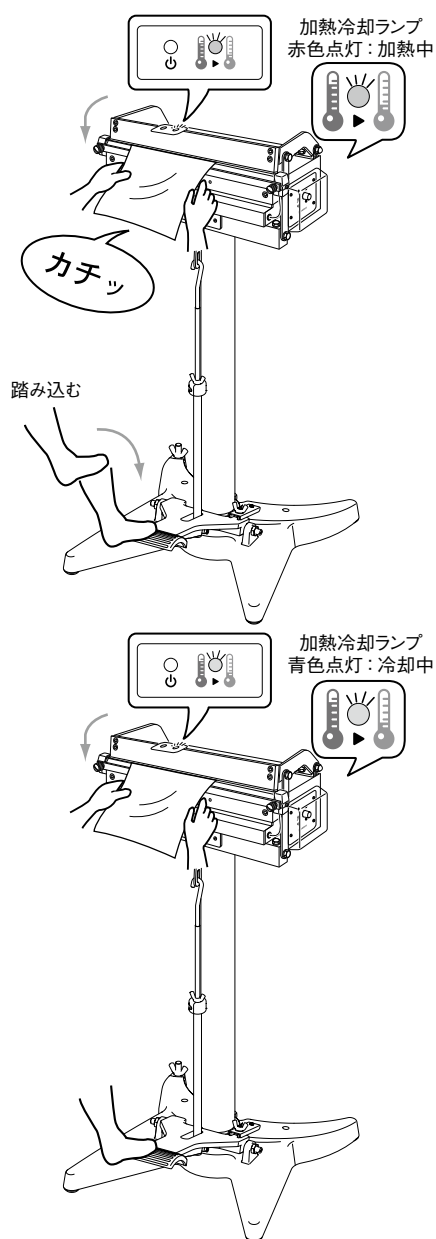
- 2 加熱が終了すると加熱冷却ランプが青色に点灯し、冷却が開始します。

MEMO 青色の点灯時間(冷却時間)は、設定した加熱時間の3倍になります。

- 3 加熱冷却ランプの青色が消灯し、ピッとブザーが鳴ると冷却終了です。ペダルを踏むのをやめ、シール部から袋(フィルム)を取り出してください。

注! 袋(フィルム)の材質、厚さによって最適な冷却時間は異なりますので、ピッとブザーが鳴っても、ペダルを踏み続けるなどして冷却時間を調整してください。

何度かシールテストを行い、設定をより良い状態に仕上げてから量産作業を行ってください。



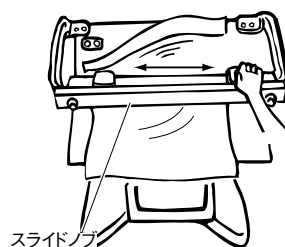
YC タイプ以外は 8-8 へ進んでください。

YC タイプの場合

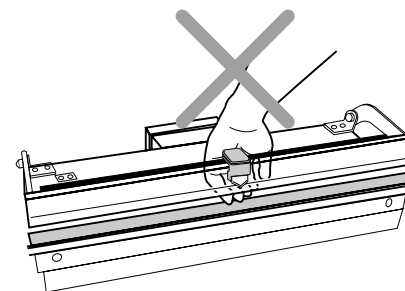
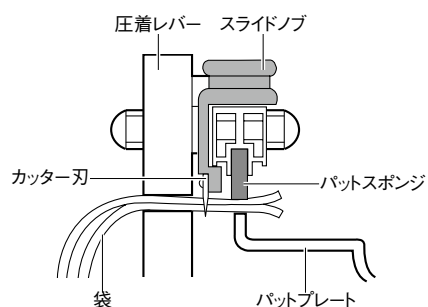
YC タイプの場合は、圧着保持されている間にスライドノブをスライドさせて袋(フィルム)をカットしてください。スライドノブは右からでも左からでもスライドさせることができます。

パットスポンジとパットプレートで確実に挟み込まれる所まで袋(フィルム)をセットしてください。

注意 カッターの刃に充分注意して作業を行ってください。カッター刃はカットバーユニットと圧着レバーの間にあり、見えにくい場所にありますのでカッターのある位置を確認して、触れないように注意しながら作業を行ってください。



スライドノブ



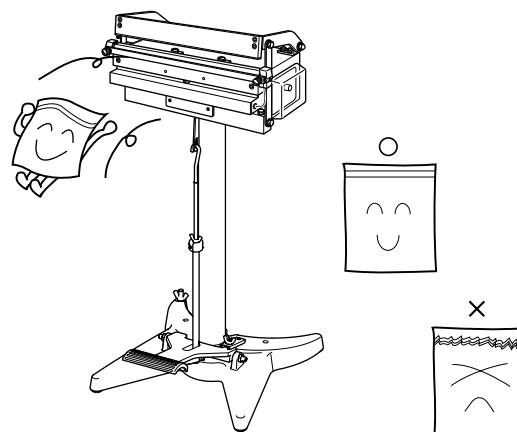
8-8 シールのできあがり

加熱・冷却終了後、ペダルを踏むのをやめ、圧着レバーを上げればシール完了です。

うまくシールができていない場合は再度、加熱時間設定をやり直したり、ペダルの踏み込む力の強弱を変えて、調整してください。

MEMO 組紐ヒーターを使用してシールを行った場合、シールの仕上がりには以下の様な特徴があります。

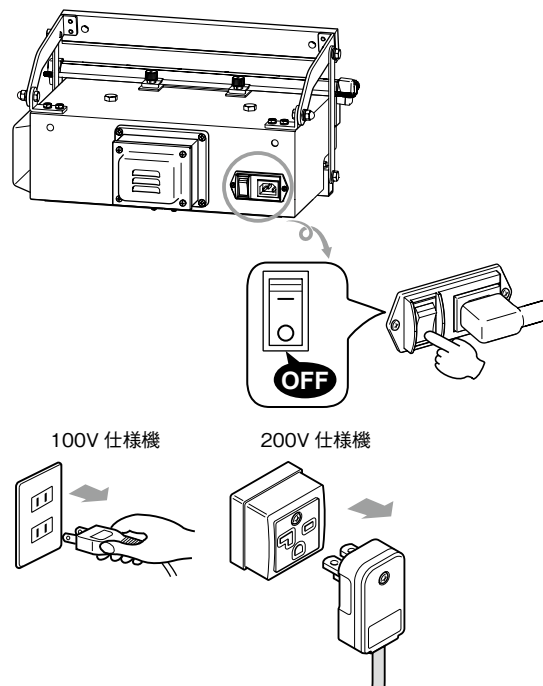
1. シール模様は組紐状の網目模様に仕上がります。
2. シールの仕上がりは製品ごと、ヒーター交換を行うごとに異なる場合があります。



8-9 電源スイッチを OFF にする

作業が終了したら、必ず電源スイッチを押して OFF 状態にしてください。

長時間使用されない時は電源プラグをコンセントから抜いてください。



8-10 作業終了後の点検

作業が終了したら、清掃を行い、フローガラスシートやヒーター等の部品が傷んでいないか点検を行ってください。傷んでいるようであれば、交換を行ってください。